空き家を放置するとデメリットがある？賢い運用方法についてもご紹介

「家を相続したものの、住む予定もないので、どうにか有効活用する方法がないかな」
「空き家を所有しているけれどずっと放置していて、このままでもいいのかな」
このようにお悩みの方はいませんか？
マイホームをすでにお持ちだと、両親が住んでいた実家の一戸建てを相続した場合、どうすればいいのか困りますよね。
いろいろな方法がありますが、どれが一番いいのか決めきれず、結局放置してしまう方がおられます。
しかし、空き家は放置する期間が長ければ長いほどデメリットなのです。
そこで今回の記事では、空き家を長く放置したままにするとどのようなことがデメリットが生じるのかについてご紹介します。

□空き家を放置すると何が起こる？

空き家を放置しておくと、時間の経過とともに不動産価値が下がってしまいます。

ちなみに相続した空き家がある地域には、他にどれくらい空き家の数がありますか？

空き家が多い場合、その地域は過疎化が進んでいることが考えられ、過疎化が進んでいくと需要が下がってしまい、その家の不動産価値が低くなってしまいます。

さらに、古くなっていたり、手入れがされていない不衛生な状態のままだと、空き家にかかる固定資産税が跳ね上がる場合があります。

また、放置された空き家に放火されたり、不審者が居ついてしまうこともあり、近隣住民の方とのトラブルになる可能性もあります。

□空き家の運用方法

空き家を放置してしまうと、先ほど挙げたようなトラブルの可能性が高まり、空き家を所有する皆さんや空き家の近隣住民の方にとって大きなデメリットです。
そのため、空き家で賃貸経営したり、売却してしまうなど、何か行動を起こしていただかなければなりません。

当社はこれまでに、みなさんのような空き家に関連したお悩みをお持ちの方々をサポートしてきました。

その中でおすすめの選択が、空き家を賃貸物件として貸し出すことです。

「賃貸経営だと管理にお金がかかってしまう」

「借りてくれる人がいなくて収益化できないのでは」

このように感じられる方もおられます。

しかし、今技能実習生の外国人の方が増え、賃貸物件を探している方が多く、空室が埋まる可能性が十分あります。

当社でも、このような技能実習生の外国人の方に提供させていただいていることが増えてきているので、様々なお悩みをサポートすることができます。

ぜひ一度ご相談ください。

□まとめ

今回は、空き家を放置すると起こるデメリットやデメリットを防ぐための運用方法についてお話

しました。
相続した空き家をそのまま放置して負担になるよりも、上手に活用してプラスに変えていただいた方が良いです。

当社では、空き家の活用方法について様々なご相談者様をサポートしてきました。

そのため、みなさんの状況それぞれで最適な選択が異なるかと思いますが、お悩みの解決に繋がるサポートをさせていただけるかと思います。

空き家を相続されてお悩みの方はお気軽にご相談ください。